

令和 7 年度（2025 年度）外国学校経験者特別入試について

令和 4 年 7 月 28 日に「令和 7 年度（2025 年度）入学試験について（予告）」、令和 5 年 3 月 24 日に「令和 7 年度（2025 年度）入学試験について（予告）（第 2 報）」を公表していますが、その中の「外国学校経験者特別入試」について、新たな項目を付加したほか、内容を一部変更した詳細情報をお知らせします。

出願方法等については、令和 6 年 4 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

|                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 1. 外国学校経験者特別入試の概要                  | 2 ページ  |
| 2. 入学者選抜方針と募集人員                    | 2 ページ  |
| 3. 予定実施時期                          | 4 ページ  |
| 4. 出願資格                            | 5 ページ  |
| 5. 第 1 種：私費外国人留学生等長期就学者 出願要件       | 7 ページ  |
| 6. 第 1 種：私費外国人留学生等長期就学者 選抜方法・選抜内容等 | 8 ページ  |
| 7. 第 2 種：帰国生徒等短期就学者 出願要件           | 12 ページ |
| 8. 第 2 種：帰国生徒等短期就学者 選抜方法・選抜内容等     | 12 ページ |
| 9. 出願書類等                           | 16 ページ |

以下は、予告（第 2 報）からの主な変更点です。

【日本留学試験（EJU）】

- ・ 出題言語を指定していた「日本語」から、「指定なし」としました。
- ・ 日本留学試験の成績は、EJU 受験から 2 年以内のもの（出願時に有効期間内であること）を利用できることとしました。
- ・ 情報学群情報科学類と情報メディア創成学類は、出願基準を設定しました。
- ・ 情報学群知識情報・図書館学類は、成績提出科目を「なし」としました。

【日本語能力試験（JLPT）】

- ・ 情報学群知識情報・図書館学類は、スコアの提出を不要としました。

【選抜方法】

- ・ 体育専門学群は、2 段階選抜をとりやめ小論文を課すこととしました。

## 1. 外国学校経験者特別入試の概要

筑波大学は、学生の多様性を高め、国際社会で活躍する人材の育成をさらに推進するため、学習にグローバルな視点を活かせる機会を拡大します。志願者の**国籍を問わず、外国の教育制度のもとで一定期間学校教育を受けた者**を対象とした入試を実施します。4月に入学したのちは、一般選抜や推薦入試を受験した者と同じ教育課程で学び、日本語で学位を取得します。

「第1種:私費外国人留学生等長期就学者」では、小学校・中学校・高等学校にあたる期間のうち通算8年以上を外国の教育機関に就学した者、あるいは外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを外国において取得した者を対象にします(日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除きます)。

「第2種:帰国生徒等短期就学者」では、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学し、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関に継続して2年以上就学した者、あるいは外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを外国において取得した者を対象とします。

なお、同一年度に「第1種」と「第2種」の両方を受験することはできません。

## 2. 入学者選抜方針と募集人員

| 学群・学類   |        | 入学者選抜方針   | 第1種   |      | 第2種   |      |
|---------|--------|---|-------|------|-------|------|
|         |        |   | 11月実施 | 2月実施 | 11月実施 | 2月実施 |
| 人文・文化学群 | 人文学類   | 人文系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。   | 5     |      |       |      |
|         | 比較文化学類 | 文化系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。   | 4     |      |       |      |
| 人間学群    | 教育学類   | 第1種) 教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。<br>第2種) 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。  |       | 1    | 1     |      |
|         | 心理学類   | 第1種) 心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。<br>第2種) 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。  |       | 1    | 1     |      |
|         | 障害科学類  | 第1種) 人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。<br>第2種) 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。  |       | 1    | 1     |      |
| 生命環境学群  | 生物学類   | 第1種) 外国学校での修学を通じて得た視点や思考法、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と学習意欲、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力及び日本語能力等を総合的に評価します。<br>第2種) 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から生命現象をとらえ、生き物の多様性や生きる仕組みに関する広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力を評価します。併せて、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。 |       | 若干名  | 若干名   |      |
|         | 生物資源学類 | 人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本語で授業を理解するために必要な基礎学力等を有する人材を、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力の観点から総合的に評価して選抜します。   | 若干名   |      |       |      |

| 学群・学類  |            | 入学者選抜方針   | 第1種   |      | 第2種   |      |
|--------|------------|---|-------|------|-------|------|
|        |            |   | 11月実施 | 2月実施 | 11月実施 | 2月実施 |
| 生命環境学群 | 地球学類       | 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から地球をとらえ、地球環境、地球史に関する幅広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と地球学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。   |       |      | 2     |      |
| 理工学群   | 数学類        | 数学に対する高い関心、入学後に数学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。   | 2 注1  |      | 2 注1  |      |
|        | 物理学類       | 物理学に対する高い関心、入学後に物理学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。   | 3 注1  |      | 3 注1  |      |
|        | 化学類        | 協調性、化学に対する高い関心、そして入学後に日本語で化学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。  | 2 注1  |      | 2 注1  |      |
|        | 工学システム学類   | 工学に対する関心や理解力、日本語能力に加え、入学後の学修に必要な基礎学力を総合的に評価します。   | 若干名   |      |       |      |
|        | 社会工学類      | 第1種) 広い視野を持ち、入学後の学習に必要な基礎学力・日本語能力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的的分析力、表現能力を総合的に評価します。<br>第2種) 高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。 | 6 注1  |      | 6 注1  |      |
| 情報学群   | 情報科学類      | 情報科学や情報技術への関心や学習意欲、数学の基礎学力と論理的思考力、日本語及び英語によるコミュニケーション能力等を評価します。   | 4     | 若干名  | 若干名   |      |
|        | 情報メディア創成学類 | 情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力及び本学類での学修に必要な数学の基礎学力や日本語及び英語でのコミュニケーション能力等を総合的に評価します。   |       | 3 注1 |       | 3 注1 |
|        | 知識情報・図書館学類 | 知識と情報に対する学習意欲や日本語によるコミュニケーション能力に加えて、日本語及び英語による理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。  | 5 注1  |      | 5 注1  |      |
| 医学群    | 医療科学類      | 英語・日本語の総合学力と数学・理科の基礎的学力、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。   | 5 注1  |      | 5 注1  |      |
| 体育専門学群 |            | 第1種) 体育・スポーツ・健康に対する強い関心と、思考能力、基礎的な日本語能力、高い英語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。<br>第2種) 体育・スポーツ・健康に対する強い関心と、保健体育に関する基礎学力、高い英語能力、日本語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。  | 12 注1 |      | 12 注1 |      |
| 芸術専門学群 |            | 第1種) 高等学校(後期中等教育)における学習・活動の成果や日本語能力に加え、芸術に関する資質、意欲、基礎的な能力を総合的に評価します。<br>第2種) 高等学校(後期中等教育)における学習・活動の成果に加え、芸術に関する資質、意欲、基礎的な能力を総合的に評価します。  | 5 注1  |      | 5 注1  |      |

注1 外国学校経験者特別入試 第1種と第2種を合わせた人数

本学の併願について

- 1) 「推薦入試」「国際バカロレア特別入試(10月募集)」との併願はできません。
- 2) 外国学校経験者特別入試の入学手続完了者が本学の他の入学試験を受験してもその試験の合格者とはなりません。
- 3) 同一年度に外国学校経験者特別入試「第1種」と「第2種」の両方を受験することはできません。

### 3. 予定実施時期

【実施時期】①令和6年(2024年)11月下旬 ②令和7年(2025年)2月下旬

【実施場所】筑波キャンパス

【日程概要(予定)】

| 試験の種類<br>実施月 | 外国学校経験者特別入試                |                            |                            |                       |
|--------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|
|              | 11月実施                      |                            | 2月実施                       |                       |
|              | 第1種:<br>私費外国人留学生等<br>長期就学者 | 第2種:<br>帰国生徒等<br>短期就学者     | 第1種<br>私費外国人留学生等<br>長期就学者  | 第2種<br>帰国生徒等<br>短期就学者 |
| 4月           | 募集要項発表: 4月下旬               |                            | 募集要項発表: 4月下旬               |                       |
| 9月           | インターネット出願登録:<br>9月中旬～10月上旬 |                            |                            |                       |
| 10月          | 出願受付: 10月上旬                |                            |                            |                       |
|              |                            | 予備選考結果発表<br>【生物学類のみ】: 10月末 |                            |                       |
| 11月          | 試験日: 11月下旬                 |                            |                            |                       |
| 12月          | 合格発表: 12月中旬                |                            |                            |                       |
|              | 入学手続: 12月中旬～下旬             |                            |                            |                       |
| 令和7年<br>1月   |                            |                            | インターネット出願登録:<br>1月上旬～中旬    |                       |
|              |                            |                            | 出願受付: 1月上旬～中旬              |                       |
| 2月           |                            |                            | 予備選考結果発表<br>【生物学類のみ】: 2月上旬 |                       |
|              |                            |                            | 試験日: 2月下旬                  |                       |
| 3月           |                            |                            | 合格発表: 3月上旬                 |                       |
|              |                            |                            | 入学手続: 3月上旬～中旬              |                       |
| 4月           | 入学式: 4月上旬                  |                            |                            |                       |

## 4. 出願資格

### 第1種：私費外国人留学生等長期就学者

2025年4月1日までに以下の(1)と(2)のすべてに該当し、「5. 出願要件」を満たす者が出願できます。

- (1) 日本の大学入学資格を有する者

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shikaku/07111314.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)

- (2) 以下の(a)から(d)のいずれかに該当する者

- (a) 日本の小学校・中学校・高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関\*に通算8年以上就学した者

※外国における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、地理的、場所的に外国において、所在する国の正規の学校教育課程を採用する学校であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。

日本における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、文部科学省が「我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校」であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。

- (b) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル\*を外国において取得した者。ただし、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除く。

※本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価を満たしていることが必要です。

- (c) 外国の学校教育制度における12年課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)を外国において合格した18歳以上の者。ただし、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除く。

- (d) 上記(a)から(c)と同等の学歴があると本学が判断した者

### 第2種：帰国生徒等短期就学者

2025年4月1日までに以下の(1)から(3)のすべてに該当し、「7. 出願要件」を満たす者が出願できます。

- (1) 日本の大学入学資格を有する者

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shikaku/07111314.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)

- (2) 日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者

- (3) 以下の(a)から(d)のいずれかに該当する者

- (a) 外国において、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関\*に継続して2年以上就学した者

※外国における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、地理的、場所的に外国において、所在する国の正規の学校教育課程を採用する学校であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。

- (b) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル\*を外国において取得した者

※本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価を満たしていることが必要です。

- (c) 外国の学校教育制度における12年課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)を外国において合格した18歳以上の者

- (d) 上記(a)から(c)と同等の学歴があると本学が判断した者

## 本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価

| 学群・学類   |                | 科目数及び評価   |
|---------|----------------|---|
| 人文・文化学群 | 人文学類           | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「言語」に関する科目を含むこと                   |
|         | 比較文化学類         | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
| 人間学群    | 教育学類           | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
|         | 心理学類           |   |
|         | 障害科学類          |   |
| 生命環境学群  | 生物学類           | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
|         | 生物資源学類         |   |
|         | 地球学類           |   |
| 理工学群    | 数学類            | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「数学」及び「理科」に関する科目を含むこと             |
|         | 物理学類           |   |
|         | 化学類            | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「数学」1科目及び「理科(物理, 化学, 生物)」2科目を含むこと |
|         | 工学システム学類       | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「数学」及び「物理」に関する科目を含むこと             |
|         | 社会工学類          | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
| 情報学群    | 情報科学類          | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
|         | 情報メディア<br>創成学類 |   |
|         | 知識情報・<br>図書館学類 |   |
| 医学群     | 医療科学類          | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「数学」「生物」「化学」に関する科目を含むこと           |
| 体育専門学群  |                | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること  |
| 芸術専門学群  |                | GCE Advancedレベルを評価がE以上で3科目以上合格していること<br>ただし、「芸術」に関する科目を含むこと                   |

## 5. 出願要件 第1種：私費外国人留学生等長期就学者

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(EJU)」の各学類・専門学群が指定する科目等の得点が出願基準を満たす者
- (2) 国際交流基金及び日本国際教育支援協会が主催する2023年度又は2024年度「日本語能力試験(JLPT)」の成績が、各学類が指定するレベル以上の者
- (3) 各学類・専門学群が指定する英語資格・検定試験を受験している者  
「レベルは問わない」の場合、英語資格・検定試験は、TOEFL iBT, TOEIC(L&R), IELTS(Academic), ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定, GTEC, TEAP, TEAP CBTを指します。  
高等学校(後期中等教育)以上の段階において、教育で使用される主な言語が3年間英語だった者は、学校情報フォームの提出によって、「英語資格・検定試験の受験」とみなします。

| 学群・学類   |            | 日本留学試験(EJU)   |                        | 日本語能力試験(JLPT) | 英語資格・検定試験   |
|---------|------------|---|------------------------|---------------|---|
|         |            | 成績提出科目  | 出願基準                   |               |   |
| 人文・文化学群 | 人文学類       | —   | —                      | N2以上          | TOEFL iBT: 69以上<br>TOEIC(L&R): 650以上<br>IELTS(Academic): 5.5以上  |
|         | 比較文化学類     | —   | —                      | N2以上          | TOEFL iBT: 69以上<br>TOEIC(L&R): 650以上<br>IELTS(Academic): 5.5以上  |
| 人間学群    | 教育学類       | 「日本語, 総合科目, 数学コース1またはコース2」<br>または<br>「日本語, 理科(自由選択), 数学コース1またはコース2」             | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |
|         | 心理学類       | 「日本語, 総合科目, 数学コース1またはコース2」<br>または<br>「日本語, 理科(自由選択), 数学コース1またはコース2」             | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |
|         | 障害科学類      | 「日本語, 総合科目, 数学コース1またはコース2」<br>または<br>「日本語, 理科(自由選択), 数学コース1またはコース2」             | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |
| 生命環境学群  | 生物学類       | 日本語, 理科(自由選択), 数学コース2<br>※外国の大学入学資格である国際バカロレア, アビトゥア, バカロレア, GCEAレベルを取得した者は提出不要 | 無し                     | —             | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
|         | 生物資源学類     | 「総合科目, 数学コース1」<br>または<br>「理科(自由選択), 数学コース2」                                     | 受験した科目ごとの得点が平均点以上であること | —             | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
| 理工学群    | 数学類        | —   | —                      | N2以上          | レベルは問わない。   |
|         | 物理学類       | —   | —                      | N2以上          | レベルは問わない。   |
|         | 化学類        | —   | —                      | N2以上          | レベルは問わない。   |
|         | 工学システム学類   | 日本語, 理科(物理必修), 数学コース2   | 無し                     | —             | レベルは問わない。   |
|         | 社会工学類      | 日本語, 数学コース2   | 無し                     | —             | レベルは問わない。   |
| 情報学群    | 情報科学類      | 日本語, 理科(自由選択), 数学コース2   | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |
|         | 情報メディア創成学類 | 日本語, 理科(自由選択), 数学コース2   | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |
|         | 知識情報・図書館学類 | —   | —                      | —             | レベルは問わない。   |
| 医学群     | 医療科学類      | 日本語, 理科(自由選択), 数学コース2   | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |

| 学群・学類  | 日本留学試験(EJU)   |                        | 日本語能力試験(JLPT) | 英語資格・検定試験   |
|--------|---|------------------------|---------------|---|
|        | 成績提出科目  | 出願基準                   |               |   |
| 体育専門学群 | —   | —                      | —             | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
| 芸術専門学群 | 「日本語, 総合科目, 数学コース1またはコース2」<br>または<br>「日本語, 理科(自由選択), 数学コース1またはコース2」 | 試験の得点(合計得点)が平均点以上であること | —             | レベルは問わない。   |

## 6. 選抜方法・選抜内容等 第1種：私費外国人留学生等長期就学者

### (1) 選抜方法

小論文(芸術専門学群を除く), 面接, 実技検査(体育専門学群及び芸術専門学群)を課し, 提出書類等を含めて総合的に判定します。

### (2) 選抜内容等

#### ア. 学群・学類別選抜内容及び採点・評価基準

##### ① 人文・文化学群 人文学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述: 哲学, 史学, 考古学・民俗学, 言語学などの人文系諸分野の勉学に必要な基礎的能力を問います。論理的思考能力, 日本語能力についても評価します。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接: 志望主専攻分野に対する意欲と適応性を見ます。志望主専攻分野に関する基礎的能力と日本語能力も評価の対象とします。              |

##### ② 人文・文化学群 比較文化学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述: 比較文化学類の専門に関する日本語の文章を読ませ, 論理的思考力, 分析力, 文章表現力等を評価します。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接: 比較文化学類の専門に関する意欲・関心と理解力を評価します。                   |

##### ③ 人間学群 教育学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述: 教育学類の専門に関連のある文章を読ませ, その文章の読解力, 論述における論理的思考力, 文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接: 志望の動機, 入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                        |

##### ④ 人間学群 心理学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述: 心理学類の専門に関連のある文章を読ませ, その文章の読解力, 論述における論理的思考力, 文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接: 志望の動機, 入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                        |

##### ⑤ 人間学群 障害科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述: 障害科学類の専門に関連のある文章を読ませ, その文章の読解力, 論述における論理的思考力, 文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接: 志望の動機, 入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                         |



## ⑥ 生命環境学群 生物学類

| 科目等  | 試験時間 | 内 容   |
|------|------|---|
| 書類選考 | —    | 志願者が12名を超えた場合は、提出された書類を用いた予備選考を行う場合があります。<br>※予備選考合格者を対象に小論文、面接を行います。 |
| 小論文  | 90分  | 日本語で論述：生物学類のカリキュラムを履修するために必要な基礎学力を問います。英語での設問及び論述を課す場合があります。          |
| 面接   | —    | 日本語による個別面接：生物学に対する意欲及び学力を問います。併せて日本語の基礎的能力を問います。                      |

## ⑦ 生命環境学群 生物資源学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：生物資源に対する理解力、論理的思考力、独創性、表現力を総合的に評価します。併せて英語での設問を行い、英語力も評価します。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：将来の希望、専攻したい分野とそれに関連した知識と理解度、論理性、積極性等を総合的に評価します。          |

## ⑧ 理工学群 数学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：数学について教課題を出題し、数学に関する基礎学力や日本語での論述力について総合的に評価します。                |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：これまでの活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力、日本語能力等について総合的に評価します。 |

## ⑨ 理工学群 物理学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：物理学に関する基礎学力と論理的思考力、日本語能力について評価します。                 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：基礎学力に加え、日本語の理解力・表現力、適応力や思考の柔軟性、外国での活動歴等を評価します。 |

## ⑩ 理工学群 化学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容                                   |
|-----|------|---------------------------------------|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：化学に関する基礎学力を評価します。              |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：適応力や思考の柔軟性、外国での活動歴等を評価します。 |

## ⑪ 理工学群 工学システム学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：工学分野を横断的にとらえ、実践するのに必要な数学、理科の基礎力に基づく論理的思考力、問題解決能力及び論述表現力を評価します。      |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：希望分野と本学類の教育内容との適合を確認し、学類カリキュラム履修に必要な基礎学力(日本語の理解力・表現力を含む)を評価します。 |

## ⑫ 理工学群 社会工学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的的分析力、表現能力を総合的に評価します。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：小論文の解答も踏まえながら、志望の動機、日本語能力、基礎学力を総合的に評価します。 |

## ⑬ 情報学群 情報科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語及び英語で論述：論理的思考力，理解力，日本語及び英語能力を評価します。                      |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：論理的思考能力，教育内容との適合性，日本語能力等を総合的に評価します。数学の口頭試問を含みます。 |

## ⑭ 情報学群 情報メディア創成学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：論理的思考力，理解力，日本語能力を評価します。                                 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：論理的思考能力，学類の教育内容との適合性，日本語能力等を総合的に評価します。数学の口頭試問を含みます。 |

## ⑮ 情報学群 知識情報・図書館学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：論理的思考力，理解力，日本語能力を評価します。英語の文章に基づく設問を含みます。             |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：教育内容との適合性，学習意欲，積極性，日本語によるコミュニケーション能力等を総合的に評価します。 |

## ⑯ 医学群 医療科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：理解力，論理的思考力，文章表現力を総合的に評価します。              |
| 面接  | —    | 日本語及び英語による個別面接：積極性，協調性，日本語及び英語能力，論理性，理解力を評価します。 |

## ⑰ 体育専門学群

| 科目等    | 内 容   |   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
|--------|---|---|--------|--|---------|---|----|--|---|------|---|---|-----|--|---|------|
| 小論文    | 試験時間<br>60分   | 英語又は日本語で論述：体育・スポーツ・健康に対する強い関心と，思考能力を総合的に評価します。  |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
| 実技検査   | 当該種目に関する基礎及び応用技能を評価します。                                 |   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
|        | 下表の実技検査種目A～Rの中から，志願者が最も得意とする種目を出願登録時に一つ選択してください。        |   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
|        | ※ 陸上競技の実技検査は，2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び実技検査時に説明する申合せにより実施します。 |   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
|        | ※ 実技検査内容は，天候や志願者数等によって変更することがあります。                      |   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
|        |   | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実技検査種目</th> <th>実技検査の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>体操</td> <td>基本技能：体の柔らかさ，巧みさ，力強さ，スピードを高めることをねらいとした運動課題<br/>応用技能：自分で創作した一連の体操の発表。時間は2分程度。音楽を使用する場合はCDを各自持参する。なお，手具を使っても使わなくともよい。各手具については大学で用意するが，各自持参してもよい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>器械運動</td> <td>男子：マット，とび箱，鉄棒の自由及び指定演技(技)，その他指定技<br/>女子：マット，とび箱，平均台の自由及び指定演技(技)，その他指定技</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>ダンス</td> <td>基本技能：基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現<br/>応用技能：課題による即興的表現，自由なテーマで創作した作品の発表(作品の長さは1～3分，音楽を使用する場合はCDを各自用意すること。)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>陸上競技</td> <td>指定種目から一つ選択：100m，400m，1500m，55mH(女子：50mH)，走幅跳，三段跳，走高跳，棒高跳，砲丸投，円盤投，槍投，ハンマー投</td> </tr> </tbody> </table> | 実技検査種目 |  | 実技検査の内容 | A | 体操 | 基本技能：体の柔らかさ，巧みさ，力強さ，スピードを高めることをねらいとした運動課題<br>応用技能：自分で創作した一連の体操の発表。時間は2分程度。音楽を使用する場合はCDを各自持参する。なお，手具を使っても使わなくともよい。各手具については大学で用意するが，各自持参してもよい。 | B | 器械運動 | 男子：マット，とび箱，鉄棒の自由及び指定演技(技)，その他指定技<br>女子：マット，とび箱，平均台の自由及び指定演技(技)，その他指定技 | C | ダンス | 基本技能：基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現<br>応用技能：課題による即興的表現，自由なテーマで創作した作品の発表(作品の長さは1～3分，音楽を使用する場合はCDを各自用意すること。) | D | 陸上競技 |
| 実技検査種目 |   | 実技検査の内容   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
| A      | 体操  | 基本技能：体の柔らかさ，巧みさ，力強さ，スピードを高めることをねらいとした運動課題<br>応用技能：自分で創作した一連の体操の発表。時間は2分程度。音楽を使用する場合はCDを各自持参する。なお，手具を使っても使わなくともよい。各手具については大学で用意するが，各自持参してもよい。  |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
| B      | 器械運動  | 男子：マット，とび箱，鉄棒の自由及び指定演技(技)，その他指定技<br>女子：マット，とび箱，平均台の自由及び指定演技(技)，その他指定技   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
| C      | ダンス   | 基本技能：基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現<br>応用技能：課題による即興的表現，自由なテーマで創作した作品の発表(作品の長さは1～3分，音楽を使用する場合はCDを各自用意すること。)  |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |
| D      | 陸上競技  | 指定種目から一つ選択：100m，400m，1500m，55mH(女子：50mH)，走幅跳，三段跳，走高跳，棒高跳，砲丸投，円盤投，槍投，ハンマー投   |        |  |         |   |    |  |   |      |   |   |     |  |   |      |

| 科目等  | 内 容  |   |
|------|--|---|
| E    | 水泳   | 競泳を専門とするもの－指定種目：50m泳(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライから一つ)<br>選択種目(一つ)：100m, 200m(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライ), 200m個人メドレー, 400m自由形, 400m個人メドレー<br>水球を専門とするもの－50m速泳及び水球ゲーム技能(パス, ドリブル, シュート) |
| F    | 野外運動   | キャンプ技術1(ロープワーク必修)<br>キャンプ技術2(テント設営, 野外炊事から一つを選択)<br>500m負荷走(男25kg, 女20kgのザックを背負っての不整地走)   |
| G    | ハンドボール   | ボディコントロール, ボールコントロール, 対人パス, シュート, 1対1及び3対3の攻撃<br>ゴールキーパーに関しては, ゴールキーピングとパスアウト<br>体力測定(走, 跳, 投)  |
| H    | バレーボール   | 個人技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ), 集団技能(3人レシーブ, コンビネーションスパイク)   |
| I    | バスケットボール   | ボディコントロール, フットワーク, シュート, ドリブル, パス及びレセプション等の基礎技術と総合ドリル   |
| J    | サッカー   | 個人技能(ボールコントロール, ドリブル等), 集団技能・戦術(ボールポゼッション, 少人数ゲーム等)<br>ゴールキーパーについては専門的技能(シュートストップ, ボールフィード等)を付加   |
| K    | ラグビー   | 個人技能(ハンドリング&ランニング, コンタクト), ユニット・ポジショナル技能(フォワード及びバックス), 基礎運動能力(30/50m走, 立5段跳等)   |
| L    | 野球・ソフトボール  | 硬式野球, 軟式野球(M号球), ソフトボール(3号球)の中から1種目選択<br>50m走, キャッチボール, トスバッティング, 二塁送球(捕手), ピッチング(投手)   |
| M    | テニス  | テニス, ソフトテニスの中から1種目選択<br>基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等), 実戦技能(ラリー)   |
| N    | 卓球   | 各種ストローク, フットワーク, サービス及びレシーブからの得点戦術  |
| O    | バドミントン   | 基本技能(トラベリング, ストローク), 実戦技能(シングルス)  |
| P    | 柔道   | 基本動作(受け身), 対人的技能(約束練習), 試合的技能(乱取り)  |
| Q    | 剣道   | 基本技能(素振り, 切り返し等), 対人技能(かかり稽古, 互格稽古)   |
| R    | 弓道   | 基本技能(巻藁前行射), 応用技能(的前行射)   |
| 面接   | 日本語及び英語による個別面接：体育・スポーツ・健康の専門家となるための資質(意欲, 自己の体育・スポーツに対する考え方, 論理的思考, リーダーシップ能力等)及びそれらの応答の際の日本語及び英語能力を評価します。 |   |
| 精密健診 | 実技検査を安全に実施するために「健康状態に関する調査票」により, 必要性のある者には精密健診を行います。精密健診の結果によっては, 再健診を行います。                                |   |

## ⑱ 芸術専門学群

| 科目  | 内 容  |             |
|---|--|-------------|
| 実技検査  | 芸術に関する基礎的表現力, 適性, 感性, 主体性等について評価します。   |             |
|   | 下表の実技検査科目から1科目を出願登録時に選択してください。   |             |
|   | 試験時間   | 科目記号 実技試験科目 |
|   | 2時間  | A1          |
| A2  |  | 鉛筆デッサン      |
| A3  |  | 書(臨書)       |
| ※実技検査の詳細は, 芸術専門学群Webサイト「芸術専門学群の入試情報」を確認してください。<br>( <a href="https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/admission/">https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/admission/</a> ) |  |             |
| 面接  | 日本語による個別面接：芸術に対する関心度や意欲, 将来性, 社会性について評価します。実技検査の自己評価も問います。併せて, 提出作品と日本語能力についても評価します。 |             |

## 7. 出願要件 第2種：帰国生徒等短期就学者

- (1) 各学類・専門学群が指定する英語資格・検定試験を受験している者  
 「レベルは問わない」の場合、英語資格・検定試験は、TOEFL iBT, TOEIC (L&R), IELTS(Academic), ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定, GTEC, TEAP, TEAP CBTを指します。

| 学 群 ・ 学 類 |            | 英語資格・検定試験   |
|-----------|------------|---|
| 人 間 学 群   | 教育学類       | レベルは問わない  |
|           | 心理学類       | レベルは問わない  |
|           | 障害科学類      | レベルは問わない  |
| 生命環境学群    | 生物学類       | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
|           | 地球学類       | TOEFL iBT: 70以上<br>TOEIC(L&R): 650 以上<br>IELTS(Academic): 5.5以上 |
| 理 工 学 群   | 数学類        | レベルは問わない  |
|           | 物理学類       | レベルは問わない  |
|           | 化学類        | レベルは問わない  |
|           | 社会工学類      | レベルは問わない  |
| 情 報 学 群   | 情報科学類      | レベルは問わない  |
|           | 情報メディア創成学類 | レベルは問わない  |
|           | 知識情報・図書館学類 | レベルは問わない  |
| 医 学 群     | 医療科学類      | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
| 体育専門学群    |            | TOEFL iBT: 61以上<br>TOEIC(L&R): 600 以上<br>IELTS(Academic): 5.0以上 |
| 芸術専門学群    |            | レベルは問わない  |

## 8. 選抜方法・選抜内容等 第2種：帰国生徒等短期就学者

- (1) 選抜方法  
 小論文(芸術専門学群を除く), 面接, 実技検査(体育専門学群及び芸術専門学群)を課し, 提出書類等を含めて総合的に判定して, 合格者を決定します。
- (2) 選抜内容等

## ア. 学群・学類別選抜内容及び採点・評価基準

## ① 人間学群 教育学類

| 科 目   | 試験時間 | 内 容  |
|-------|------|--|
| 小 論 文 | 120分 | 日本語で論述：教育学類の専門に関連のある文章を読ませ、その文章の読解力、論述における論理的思考力、文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面 接   | —    | 日本語による個別面接：志望の動機、入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                      |

## ② 人間学群 心理学類

| 科 目   | 試験時間 | 内 容  |
|-------|------|--|
| 小 論 文 | 120分 | 日本語で論述：心理学類の専門に関連のある文章を読ませ、その文章の読解力、論述における論理的思考力、文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面 接   | —    | 日本語による個別面接：志望の動機、入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                      |

## ③ 人間学群 障害科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：障害科学類の専門に関連のある文章を読ませ、その文章の読解力、論述における論理的思考力、文章表現力を評価します。英語での設問を課す場合があります。 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：志望の動機、入学後の学習に対する関心・意欲と本学類の教育内容との適合性等について評価します。                       |

## ④ 生命環境学群 生物学類

| 科目等  | 試験時間 | 内 容   |
|------|------|---|
| 書類選考 | —    | 志願者が4名を超えた場合は、提出された書類を用いた予備選考を行う場合があります。<br>※予備選考合格者を対象に小論文、面接を行います。                    |
| 小論文  | 120分 | 日本語で論述：生き物の多様性や生きる仕組みに関する知識や理解度、論理的思考力、文章の読解力と論述による表現力を、総合的に評価します。英語での設問及び論述を課す場合があります。 |
| 面接   | —    | 日本語による個別面接：生物学に対する考え方及び理解力、特に生き物の多様性や生きる仕組みに関する広い興味と理解度、コミュニケーション能力を総合的に評価します。          |

## ⑤ 生命環境学群 地球学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：理解力、論理的思考力、文章表現力及び地球学への関心度を総合的に評価します。                     |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：基礎学力に加え、地球学に対する意欲・適応力、本学類の教育内容との適合性、日本語能力等を総合的に評価します。 |

## ⑥ 理工学群 数学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：数学について数課題を出題し、数学に関する基礎学力や日本語での論述力について総合的に評価します。                |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：これまでの活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力、日本語能力等について総合的に評価します。 |

## ⑦ 理工学群 物理学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：物理学に関する基礎学力と論理的思考力、日本語能力について評価します。                 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：基礎学力に加え、日本語の理解力・表現力、適応力や思考の柔軟性、外国での活動歴等を評価します。 |

## ⑧ 理工学群 化学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容                                   |
|-----|------|---------------------------------------|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：化学に関する基礎学力を評価します。              |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：適応力や思考の柔軟性、外国での活動歴等を評価します。 |

## ⑨ 理工学群 社会工学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的分析力、表現能力を総合的に評価します。  |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：小論文の解答も踏まえながら、志望の動機、日本語能力、基礎学力を総合的に評価します。 |

## ⑩ 情報学群 情報科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語及び英語で論述：論理的思考力，理解力，日本語及び英語能力を評価します。                      |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：論理的思考能力，教育内容との適合性，日本語能力等を総合的に評価します。数学の口頭試問を含みます。 |

## ⑪ 情報学群 情報メディア創成学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容  |
|-----|------|--|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：論理的思考力，理解力，日本語能力を評価します。                                 |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：論理的思考能力，学類の教育内容との適合性，日本語能力等を総合的に評価します。数学の口頭試問を含みます。 |

## ⑫ 情報学群 知識情報・図書館学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 90分  | 日本語で論述：論理的思考力，理解力，日本語能力を評価します。英語の文章に基づく設問を含みます。             |
| 面接  | —    | 日本語による個別面接：教育内容との適合性，学習意欲，積極性，日本語によるコミュニケーション能力等を総合的に評価します。 |

## ⑬ 医学群 医療科学類

| 科目  | 試験時間 | 内 容   |
|-----|------|---|
| 小論文 | 120分 | 日本語で論述：理解力，論理的思考力，文章表現力を総合的に評価します。              |
| 面接  | —    | 日本語及び英語による個別面接：積極性，協調性，日本語及び英語能力，論理性，理解力を評価します。 |

## ⑭ 体育専門学群

| 科目等  | 内 容   |  |
|------|---|--|
| 小論文  | 試験時間<br>60分   | 日本語及び英語で論述：体育・スポーツ・健康に対する強い関心と，保健体育に関する基礎学力を総合的に評価します。   |
| 実技検査 | 当該種目に関する基礎及び応用技能を評価します。                                 |  |
|      | 下表の実技検査種目A～Rの中から，志願者が最も得意とする種目を出願登録時に一つ選択してください。        |  |
|      | ※ 陸上競技の実技検査は，2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び実技検査時に説明する申合せにより実施します。 |  |
|      | ※ 実技検査内容は，天候や志願者数等によって変更することがあります。                      |  |
|      |   | 実技検査の内容  |
| A    | 体操  | 基本技能：体の柔らかさ，巧みさ，力強さ，スピードを高めることをねらいとした運動課題<br>応用技能：自分で創作した一連の体操の発表。時間は2分程度。音楽を使用する場合はCDを各自持参する。なお，手具を使っても使わなくともよい。各手具については大学で用意するが，各自持参してもよい。 |
| B    | 器械運動  | 男子：マット，とび箱，鉄棒の自由及び指定演技(技)，その他指定技<br>女子：マット，とび箱，平均台の自由及び指定演技(技)，その他指定技  |
| C    | ダンス   | 基本技能：基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現<br>応用技能：課題による即興的表現，自由なテーマで創作した作品の発表(作品の長さは1～3分，音楽を使用する場合はCDを各自用意すること。)   |
| D    | 陸上競技  | 指定種目から一つ選択：100m，400m，1500m，55mH(女子：50mH)，走幅跳，三段跳，走高跳，棒高跳，砲丸投，円盤投，槍投，ハンマー投  |

| 科目等  | 内 容   |   |
|------|---|---|
| E    | 水泳  | 競泳を専門とするもの－指定種目:50m泳(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライから一つ)<br>選択種目(一つ):100m, 200m(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライ), 200m個人メドレー, 400m自由形, 400m個人メドレー<br>水球を専門とするもの－50m速泳及び水球ゲーム技能(パス, ドリブル, シュート) |
| F    | 野外運動  | キャンプ技術1(ロープワーク必修)<br>キャンプ技術2(テント設営, 野外炊事から一つを選択)<br>500m負荷走(男25kg, 女20kgのザックを背負っての不整地走)   |
| G    | ハンドボール  | ボディコントロール, ボールコントロール, 対人パス, シュート, 1対1及び3対3の攻撃<br>ゴールキーパーに関しては, ゴールキーピングとパスアウト<br>体力測定(走, 跳, 投)  |
| H    | バレーボール  | 個人技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ), 集団技能(3人レシーブ, コンビネーションスパイク)   |
| I    | バスケットボール  | ボディコントロール, フットワーク, シュート, ドリブル, パス及びレセプション等の基礎技術と総合ドリル   |
| J    | サッカー  | 個人技能(ボールコントロール, ドリブル等), 集団技能・戦術(ボールポゼッション, 少人数ゲーム等)<br>ゴールキーパーについては専門的技能(シュートストップ, ボールフィード等)を付加   |
| K    | ラグビー  | 個人技能(ハンドリング&ランニング, コンタクト), ユニット・ポジショナル技能(フォワード及びバックス), 基礎運動能力(30/50m走, 立5段跳等)   |
| L    | 野球・ソフトボール   | 硬式野球, 軟式野球(M号球), ソフトボール(3号球)の中から1種目選択<br>50m走, キャッチボール, トスバッティング, 二塁送球(捕手), ピッチング(投手)   |
| M    | テニス   | テニス, ソフトテニスの中から1種目選択<br>基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等), 実戦技能(ラリー)   |
| N    | 卓球  | 各種ストローク, フットワーク, サービス及びレシーブからの得点戦術  |
| O    | バドミントン  | 基本技能(トラベリング, ストローク), 実戦技能(シングルス)  |
| P    | 柔道  | 基本動作(受け身), 対人的技能(約束練習), 試合的技能(乱取り)  |
| Q    | 剣道  | 基本技能(素振り, 切り返し等), 対人技能(かかり稽古, 互格稽古)   |
| R    | 弓道  | 基本技能(巻藁前行射), 応用技能(的前行射)   |
| 面接   | 日本語及び英語による個別面接: 体育・スポーツ・健康の専門家となるための資質(意欲, 自己の体育・スポーツに対する考え方, 論理的思考, リーダーシップ能力等)及びそれらの応答の際の日本語及び英語能力を評価します。 |   |
| 精密検診 | 実技検査を安全に実施するために「健康状態に関する調査票」により, 必要性のある者には精密健診を行います。  |   |

## ⑮ 芸術専門学群

| 科目等   | 内 容   |        |
|---|---|--------|
| 実技検査  | 芸術に関する基礎的表現力, 適性, 感性, 主体性等について評価します。<br>下表の実技検査科目から1科目を出願登録時に選択してください。          |        |
|   | 試験時間  | 科目記号   |
| 2時間   | A1  | 論述     |
|   | A2  | 鉛筆デッサン |
|   | A3  | 書(臨書)  |
| ※実技検査の詳細は, 芸術専門学群Webサイト「芸術専門学群の入試情報」を確認してください。<br>( <a href="https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/admission/">https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/admission/</a> ) |   |        |
| 面接  | 日本語による個別面接: 芸術に対する関心度や意欲, 将来性, 社会性について評価します。実技検査の自己評価も問います。併せて, 提出作品についても評価します。 |        |

## 9. 出願書類等

| 書 類 等 |  | 第 1 種        | 第 2 種 | 摘 要   |
|-------|--|--------------|-------|---|
| 1     | 入学志願票  | 全 員          | 全 員   | インターネット出願登録サイトからカラー印刷してください。<br>最終学歴が外国学校の場合は、在学した(している)学校が在住国の正規の教育制度に基づく高等学校であり、大学へ進学できる課程であることを証明できる書類(パンフレット可)を添付してください。  |
| 2     | 修了(見込)証明書・成績証明書<br>[2024年4月以降に作成されたもの]<br>(注1) | 全 員          | 全 員   | (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した(2025年3月31日までに修了見込みを含む)者は、学校教育における12年の課程の修了(見込)証明書と高等学校(中等教育)3年間の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの)を提出してください。<br>(2) 外国において学校教育における中等教育の課程を修了した者で、文部科学大臣の指定した教育施設において日本の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものは、次のアとイの書類を提出してください。<br>ア 学校教育における中等教育の課程の修了証明書と成績証明書<br>イ 文部科学大臣の指定した教育施設の修了(見込)証明書と成績証明書<br>(3) 日本国の高等学校(中等教育学校も含む)に在学したことがある者は、当該高等学校長が作成した文部科学省の定めた様式の調査書(厳封)を提出してください。<br>※調査書が得られない場合は、学年毎の成績が分かる「成績証明書」又は「単位修得証明書」を提出してください。<br>(4) 日本の高等学校卒業(予定を含む)者は、出身高等学校長が作成した卒業(見込)証明書を提出してください。<br>(5) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局(International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格を有する者は、次のア～ウの書類を提出してください。また、出願前に本学が国際バカロレア機構から成績を入手できるようにする手続きを必ず取ってください。<br>ア 国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し<br>イ インターネット上の国際バカロレア最終試験の成績証明書の写し<br>ウ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書<br>(6) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者は、次のアとイの書類を提出してください。<br>ア 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)とこれに記載されている成績<br>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書<br>(7) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者は、次のアとイの書類を提出してください。<br>ア バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写しとバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)<br>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書<br>(8) 英国において大学入学資格として認められている General Certificate of Education GCE Advancedレベル資格を有する者は、次のアとイの書類を提出してください。<br>ア GCE(General Certificate of Education)の成績評価証明書<br>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書<br><br>※書類が日本語または英語以外の場合は、日本語又は英語による翻訳(高等学校又は公の機関が証明したもの)を併せて提出してください。(項目14参照) |
| 3     | 日本留学試験(EJU)の受験票の写し                             | 右記の学群・学類の志願者 | 不 要   | 〔 第1種: 教育学類, 心理学類, 障害科学類, 生物学類, 生物資源学類, 工学システム学類, 社会工学類, 情報科学類, 情報メディア創成学類, 医療科学類, 芸術専門学群 〕<br><br>各学類・専門学群が指定した科目の有効期間内(受験から2年以内)の受験票の写しを提出してください。   |



| 書 類 等                          | 第 1 種                          | 第 2 種        | 摘 要  |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------|--|
| 4 日本語能力証明書                     | 右記の学群・学類の志願者                   | 不 要          | <p>〔 第1種： 人文学類, 比較文化学類, 数学類, 物理学類, 化学類 〕</p> <p>国際交流基金及び日本国際教育支援協会が主催する 2023 年度又は 2024 年度「日本語能力試験(JLPT)」の成績証明書の原本を提出してください。</p>  |
| 5 英語資格・検定試験の成績証明書等<br>(注1)     | 右記の学群・学類の志願者<br>(成績提出免除希望者を除く) | 右記の学群・学類の志願者 | <p>〔 第1種： 人文学類, 比較文化学類, 生物学類, 生物資源学類, 医療科学類, 体育専門学群 〕</p> <p>〔 第2種： 生物学類, 地球学類, 医療科学類, 体育専門学群 〕</p> <p>2023 年 10 月以降に受験した以下の検定試験からいずれか一つの書類の原本を提出してください。</p> <p>TOEFL iBT: 「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report)<br/>Official Score Report を ETS から大学(Institution(DI)コードは「C238」)に送付するようにしても構いません。出願期間内に大学にデータが届かない場合は書類不備となります。<br/>※スコアは, Test Date スコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。</p> <p>TOEIC(L&amp;R): 「デジタル公式認定証(PDF)」の印刷物</p> <p>IELTS(Academic): 「成績証明書」(Test Report Form)</p> |
|                                | 右記の学群・学類の志願者<br>(成績提出免除希望者を除く) | 右記の学群・学類の志願者 | <p>〔 第1種： 教育学類, 心理学類, 障害科学類, 数学類, 物理学類, 化学類, 工学システム学類, 社会工学類, 情報科学類, 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類, 芸術専門学群 〕</p> <p>〔 第2種： 教育学類, 心理学類, 障害科学類, 数学類, 物理学類, 化学類, 社会工学類, 情報科学類, 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類, 芸術専門学群 〕</p> <p>2023 年 10 月以降に受験した TOEFL iBT, TOEIC (L&amp;R), IELTS(Academic), ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定, GTEC, TEAP, TEAP CBT のいずれかの合格証明書又は成績証明書の原本を提出してください。実用英語技能検定(英検)の場合は, 合格証明書に加え, 個人成績表の写しも提出してください。</p>  |
| 6 学校情報フォーム<br>[募集要項一覧のページから印刷] | 英語資格・検定試験の成績提出免除希望者            | 不 要          | <p>高等学校(後期中等教育)において, 教育で使用される主な言語が 3 年間英語だった者で, 英語資格・検定試験の成績免除希望者は, 出身学校が作成した本学所定様式の学校情報フォームを提出してください。</p>   |
| 7 写真票<br>[出願登録サイトから印刷]         | 全 員                            | 全 員          | <p>出願登録の際に, 顔写真のデータのアップロードが必要です。上半身・無帽・正面向きで出願する前 3 か月以内に撮影した顔写真のデータを準備してください。受験時に眼鏡を使用する場合は, 眼鏡をかけて撮影してください。<br/>アップロードした顔写真は, 写真票に印刷されます。</p>  |
| 8 志望の動機                        | 全 員                            | 全 員          | <p>募集要項一覧のページから印刷した本学所定様式を用いて, 「志望の動機」を日本語 600 字程度にまとめて提出してください。</p>   |
| 9 体育実技検査票                      | 体育専門学群志願者                      | 体育専門学群志願者    | <p>インターネット出願登録サイトからカラーで印刷してください。</p>   |
| 10 運動特技に関する調査票                 | 体育専門学群志願者                      | 体育専門学群志願者    | <p>インターネット出願登録サイトからカラーで印刷し, 所要事項の全項目を必ず記入してください。なお, 該当事項がない場合は, 「なし」と記入してください。</p>   |
| 11 健康状態に関する調査票                 | 体育専門学群志願者                      | 体育専門学群志願者    | <p>インターネット出願登録サイトからカラーで印刷してください。</p>   |
| 12 作品写真                        | 芸術専門学群志願者                      | 芸術専門学群志願者    | <p>自身が作成した作品の写真(3 点以内)を A4 サイズの用紙に印刷又は貼り付けの上, 左 1 か所をステープラー等で綴じた物を提出してください。氏名を記入してください。</p>  |

| 書 類 等                | 第 1 種         | 第 2 種         | 摘 要   |
|----------------------|---------------|---------------|---|
| 13 学修計画              | 芸術専門学群<br>志願者 | 芸術専門学群<br>志願者 | 4年間で何を学びたいか、どのような力を身につけたいのか、また卒業後の進路についてどのように考えているかについて、A4サイズ用紙に日本語2000字以内又は英語1000ワード以内で作成し提出してください。<br>なお、「学修計画(表紙)」を本学Webサイト「募集要項一覧」から印刷し、必要事項を記入して、学修計画の表紙としてください。 |
| 14 身分証明書の写し等         | 全 員           | 全 員           | パスポート、在留カード等、氏名を確認できる証明書の写しを提出してください。   |
| 15 翻訳文<br>(英文以外の外国文) | 対象者           | 対象者           | 書類等が日本語または英語以外の場合は、日本語又は英語による翻訳(当該高等学校又は公の機関が証明したもの)を添付してください。  |
| 16 大学あて名シート・出願書類確認票  | 全 員           | 全 員           | インターネット出願登録完了後、大学あて名シートと出願書類確認票をインターネット出願登録サイトからカラーで印刷してください。   |

注1：提出された証明書は返却できません。原本の提出が難しい場合は、出身学校長の公印を押印し、原本と相違ないことの証明を受けた証明書の写しを提出してください。